

平成23年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7202）

8目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ウォーキング立県とっとり事業	13,878	4,068	9,810				13,878	
トータルコスト	26,659千円（前年度 5,682千円）〔正職員：1.6人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、ウォーキングポイント制度の普及							
工程表の政策目標(指標)	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減（平成20年度を基準年として、5年以内に10%減）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

健康・長寿の鳥取県を目指すため、一次予防としての運動習慣を定着させることが必要である。誰でも手軽に取り組めるウォーキングを普及させ、県民が日常的にウォーキングに取り組む「ウォーキング立県」をさらに推進していくため、日常的なウォーキングの取組へのステップとなる仕組みづくりを行う。

2 主な事業内容

(1) ケータイで健康づくりウォーキング推進事業 8,632千円【新規】

携帯電話の約9割に搭載されたQRコードの読取機能（バーコードリーダー）を活用して歩くことで、自身の歩行距離が管理できるサービスシステムを開発・提供し、県民に日常的にウォーキングに取り組んでもらう仕組みづくりを行う。

【メリット】

- 日々歩いた距離に応じて自分の位置が確認できる「日本一周に見立てたコース」を設定し、携帯電話やパソコンで確認できるなど、楽しくウォーキングに参加（一定距離に応じて記念品を贈呈）できるようにすることでウォーキングに関心を持っていない人へもアピールすることができる。
- スタート地点及びゴール地点に「QRコード」を掲示するだけでコース設定が可能のため、コース数の拡大が非常に容易。
- 1台の携帯電話で複数人登録可能なため、携帯電話を持たない子どもやお年寄り、バーコードリーダーが使いこなせない方にも気軽に参加できる仕組み。

(2) とっとり19の道発信事業 1,155千円【新規】

各市町村にある魅力的で日常的に歩きたくなるウォーキングコースを市町村と連携を図りながら、「とっとり19の道」として設置。沿線の見どころとともにウォーキングマップにまとめ、「とっとり19の道」紹介パンフを作成するとともに、ホームページ等で公開する。

（※マップ内に各QRコードも掲載）

(3) ウォーキング立県19のまちを歩こう事業 2,341千円（継続）

県内で開催されるウォーキング大会に参加する際のインセンティブとして、応募・抽選により、景品をプレゼントする。

(4) 「ウォーキング立県とっとり」推進事業 1,750千円（継続）

ウォーキング大会を積極的に開催する団体等に開催経費等について助成する。（補助率1/2）

区分	内容
対象事業	(1) 県内で新規に開催されるウォーキング大会（5団体） (2) 通年の大会にノルディックウォーキング部門を加えるなど拡充して実施する大会（5団体）

3 これまでの取組状況、改善点

H22年度中に19すべての市町村を会場にウォーキング大会が開かれることになった。また、「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」では、延べ約11,000人が、認定大会に2大会以上参加しており、事業が徐々に認知されてきている。

以上のように、本県のウォーキング大会参加への機運は徐々に高まりつつあるが、日常生活でのウォーキングを推進していくことが重要である。平成23年度は、ケータイで健康づくりウォーキング推進事業など、県民が日常的にウォーキングに取り組むステップとなる仕組みづくりを行う。